

サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

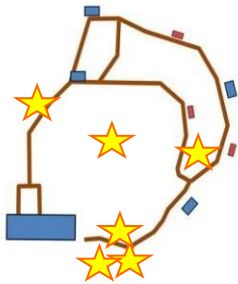
サロベツ花だより

No.1

今のおすすめは ミズバショウ です



←約 10 cm →



一周約 1km
所要時間30~40分

春の小鳥たちの
さえずりをききながら
散歩を楽しんでください

【発見難易度】 白色の花です

★☆☆☆☆ サトイモ科

【花の高さ】

【花の大きさ】



低い(20cm程度)



手のひらくらい

【漢字：水芭蕉】

まばゆい純白の苞と鮮やかな緑の葉が早春の湿原に映えます。大きな葉が芭蕉と似ていて水辺に生えることから名付けられました。別名イソキナ(クマ・草)といい、穴から出た熊が有毒の芽を食べて、冬眠中に溜まっていた排泄物を一気に出すと言われています。

ヤチヤナギ(雄花) ヤマモモ科 咲いています



雌雄異株で、雄花は1cm程の松かさ状の地味な花が咲きます。黄緑色に見えているのが雄しべです。よく見ると木道わきでたくさん咲いています。

ヤチヤナギ(雌花) ヤマモモ科 咲いています



花は5mm程と極小で、まるでマッチ棒の先のような形で赤紫色をしています。まだ虫のいないこの時期、雄花の花粉が風で飛んでくるのを待ちます。

ザゼンソウ サトイモ科 咲いています



花は茶色で葉が開く前に咲き、茶色い湿原と同化しているので見つけるとうれしくなります。苞の中は発熱現象で温度が高くなり、悪臭を放ちます。

【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ
認定NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL/FAX: 0162-82-3950
Eメール info@sarobetsu.or.jp
ホームページ『サロエコ』で検索
http://www.sarobetsu.or.jp/
Facebook も見てね!



サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

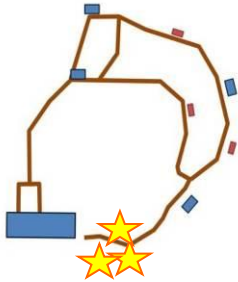
サロベツ花だより

No.2

今のおすすめは エゾリュウキンカ です



←約 3 cm →



一周約 1km
所要時間30~40分

春の小鳥たちの
さえずりをききながら
散策を楽しんでください

【発見難易度】黄色の花です

★☆☆☆☆ キンポウゲ科

【花の高さ】

【花の大きさ】



中 (30~80cm程度)



指の輪くらい

【漢字：蝦夷立金花】

まだ色の少ない早春の湿地に、鮮やかな黄色い花とツヤのある緑の葉が輝いて映えます。道民には別名「ヤチブキ (谷地落)」でよく知られ、ヤチ(湿地)に生えてフキの葉に似ていることから名付けられました。木道わきでは林内で見られます。

ヒメイチゲ キンポウゲ科 咲いています



ヒメ(姫)の名が付くとおり、小さく可愛らしい花です。晴れると太陽に向かってワイと咲いているように見えます。春の風に吹かれてフラワーロックのように揺れています。

ヤチツツジ ツツジ科 咲いています



30cm程の低さのとても細い木に、5mm程の小さくスズランのような花が咲きます。英名はレザーリーフといい、まさになめし皮のような見た目です。

ギョウジャニンニク(葉) ヒガンバナ科 見られます



アイヌの人たちは、強い臭気に病魔も近づけないと信じ、伝染病が流行した時には必ず戸口や窓につるしたそうです。国立公園内は植物の採取は禁止です。

【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ
認定 NPO 法人 サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL/FAX: 0162-82-3950
Eメール info@sarobetsu.or.jp
ホームページ『サロエコ』で検索
http://www.sarobetsu.or.jp/
Facebook も見てね!



サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

サロベツ花だより

No.3

今のおすすめは ヤチツツジ です



↔
★ ★ ★ ★ ★ < 約 0.5 cm >
一周約 1km
所要時間30~40分
春の小鳥たちの
さえずりをききながら
散策を楽しんでください

【発見難易度】 白色の花です

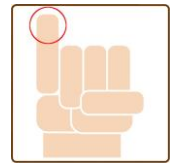
★★★★☆ ツツジ科

【花の高さ】

【花の大きさ】



中 (20~30cm程度)



小指の先くらい

【漢字：谷地躑躅】

スズランのような白くてとても小さな花が、北海道の低地の「ヤチ(湿地)」に生える絶滅危惧種(EN)です。30cm くらいの低く細い木のため気づかないお客様も多いですが、サロベツ湿原センターでは、木道わきやさらに湿原の奥の方までたくさん見られる貴重な場所です。

タテヤマリンドウ リンドウ科 咲いています



晴れた日の暖かい午前中に咲くので、見られると嬉しくなります。天気が悪い日は虫が少なく花粉を守るために花を閉じるため、まったく気づかない花になります。

オオバナノエンレイソウ シュロソウ科



北海道大学の校章のモチーフになっていたり、六花亭の紙袋に描かれていたり、道民に愛されている花です。気品のあふるたたまいは見る人を魅了します。

エゾカンゾウ(葉) ススキノキ科 見られます



花は例年5月末~6月初旬頃に初認され、見頃は例年6月中旬~下旬です。一昨年と昨年はオレンジ色の絨毯が見られました。今年も遅霜の影響がないことを祈ります。

【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ
認定NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL/FAX: 0162-82-3950

Eメール info@sarobetsu.or.jp

ホームページ『サロエコ』で検索

http://www.sarobetsu.or.jp/

Facebook も見てね!



サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

サロベツ花だより

No.4

今のおすすめは ミツバオウレン です



< 約 1 cm >

一周約 1km

所要時間30~40分

春の小鳥たちの
さえずりをききながら
散策を楽しんでください



【発見難易度】 白色の花です

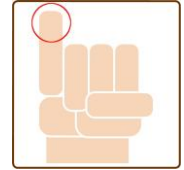
★★★★☆☆ キンポウゲ科

【花の高さ】

【花の大きさ】



低 (5~10cm程度)



小指の先くらい

【漢字：三葉黄連】

花に見える白い部分はじつはがく片で、花びらはとても小さく、黄色いしゃもじ形で 4~5 個あります。葉は名前のおとおり三つ葉です。今時期は小さいお花が地上の星々のように咲くシーズンですが、ミツバオウレンも木道わきの足元でたくさん咲いています。

ショウジョウバカマ シュロソウ科 咲いています



花の色がピンク、紫、朱色など多彩で、白花もあります。まるで花火を宇宙から眺めているようです。咲きながら背丈がどんどん伸び、40~50cm程まで高くなります。

ミツガシワ ミツガシワ科 咲いています



花の内側に白いレースのような毛がたくさんある美しい花で、氷河期からの生き残りと言われています。浅い水辺を好み、第1デッキ周辺と第5デッキ周辺で見られます。

サロベツ湿原センター情報



サロベツ湿原センターは、緊急事態宣言発令中の6/20(日)迄の期間臨時休館となっております。なお、駐車場・トイレ・木道は6/1(火)~通常通りご利用いただけます。レストハウス(レストラン・売店)は6/2(水)より再開されます(火曜定休日)。また、木道は一方通行での散策にご協力をお願いします。

【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ
認定 NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL/FAX: 0162-82-3950

Eメール info@sarobetsu.or.jp

ホームページ『サロエコ』で検索

http://www.sarobetsu.or.jp/

Facebook も見てね!



サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

サロベツ花だより

No.5

今のおすすめは カラフトイノツツジ です

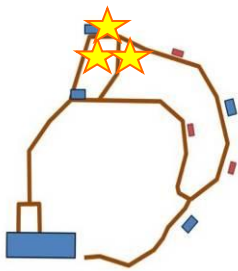


< 約 1 cm >

一周約 1km

所要時間30~40分

初夏の小鳥たちの
さえずりをききながら
散策を楽しんでください



【発見難易度】 白色の花です

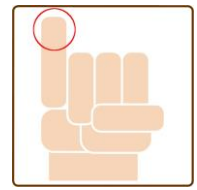
★★☆☆☆ ツツジ科

【花の高さ】



低 (50cm程度)

【花の大きさ】



小指の先くらい

【漢字：樺太磯躑躅】

ツツジでイメージされるよりかなり低く細い木です。白く可愛い花が球状にたくさん咲きます。「エゾ(蝦夷)」の聞き間違いから「イソ(磯)」と名付けられ、磯には生えません。枝葉を指で強めに擦ると、コーラのような匂いがします。

ホロムイイチゴ バラ科 咲いています



別名「ヤチイチゴ」とも言われ、谷地(湿地の意味)に生えるイチゴです。かつては北海道の泥炭地に広く分布していたと言われています。木道歩きでたくさん見られます。

カラマツソウ キンポウゲ科 咲いています



スラリと伸びた茎の先で線香花火がチリチリと儚く燃えているように見えます。名前は唐松の葉に似ていることから名付けられました。内周周辺で見られます。

サロベツ湿原センター情報



サロベツ湿原センターは、緊急事態宣言発令中の6/20(日)迄の期間、臨時休館となっております。なお、駐車場・トイレ・木道は通常通りご利用いただけます。レストハウス(レストラン・売店)は営業しており、火曜が定休日です。また、木道は一方通行での散策にご協力をお願いします。

【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ
認定 NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL/FAX: 0162-82-3950
Eメール info@sarobetsu.or.jp
ホームページ『サロエコ』で検索
http://www.sarobetsu.or.jp/
Facebook も見てね!



サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

サロベツ花だより

No.6

今のおすすめは カキツバタ です

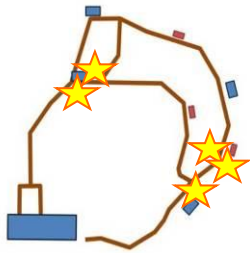


< 約 10 cm >

一周約 1km

所要時間30~40分

初夏の小鳥たちの
さえずりをききながら
散策を楽しんでください



【発見難易度】 紫色の花です

★☆☆☆☆ アヤメ科

【花の高さ】

【花の大きさ】



中 (60cm程度)



手のひらくらい

【漢字: 杜若】

初夏の木道脇を彩るカキツバタは、スツとした立ち姿で優美で気品があります。水辺や雨が似合い、古来より日本人を魅了してきました。サロベツ湿原には他に2種類のアヤメ(ノハナショウブ、ヒオウギアヤメ)が咲きますが、カキツバタは白い筋が入っているのが特徴です。

エゾカンゾウ ススキノキ科 咲いています



本州では「ニッコウキスゲ」として親しまれています。朝開花し夕方閉じる 1日花で、花言葉は「日々新たに」。花はエゾシカの好物で、食べられた跡も見られます。

ヤナギトラノオ サクラソウ科 咲いています



柳のような葉に、虎の尾のように見える花が咲きます。ヨシなどの背の高い植物に隠れてひっそりと咲いていますので、探してみてください。

サロベツ湿原センター情報



まん延防止等重点措置のため、サロベツ湿原センターは6/30(水)まで臨時休館が延長となりました。駐車場・木道・トイレは引き続き通常通りご利用いただけます。木道は、感染拡大防止のため、一方通行での散策にご協力をお願いします。

【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ
認定 NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL/FAX: 0162-82-3950

Eメール info@sarobetsu.or.jp

ホームページ『サロエコ』で検索

http://www.sarobetsu.or.jp/

Facebook も見てね!



サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

サロベツ花だより

No.7

今のおすすめは エゾカンゾウ です



【発見難易度】黄色の花です

★☆☆☆☆ ススキノキ科

【花の高さ】



中 (70cm程度)

【花の大きさ】



手のひらくらい

【漢字：蝦夷萱草】

朝咲いて夕方閉じる一日花ですが、次々に開花していきます。その年の気温が咲き始めの時期で分かると言われます。6/24 現在 5分咲きで、6月末～7月初旬にかけて見頃となりそうです。海岸草原(道道 106号線沿い)でも綺麗に咲いています。



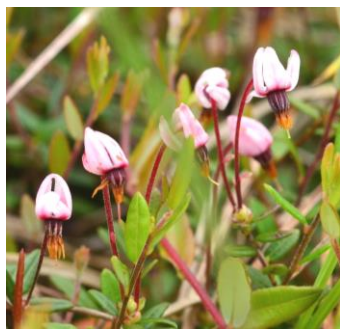
◀▶
＜約7cm＞

一周約 1km

所要時間30～40分

初夏の小鳥たちの
さえずりをききながら
散策を楽しんでください

ツルコケモモ ツツジ科 咲いています



花は小指の先ほどの可愛らしさで、茎は針金のように細く、高層湿原に咲く貴重な花です。本州では山の上でしか見られませんが、通年冷涼な気候のサロベツでは平地で見られます。

トキノウ ラン科 咲いています



人気のある貴重な野生のランです。数は少ないですが木道わきで見られます。15cm程の低さでひっそりと咲いていますので、探してみてください。

サロベツ湿原センター情報



まん延防止等重点措置に伴い、サロベツ湿原センターは6/30(水)まで臨時休館が延長となっています。駐車場・木道・トイレは引き続き通常通りご利用いただけます。木道は、感染拡大防止のため、一方通行での散策にご協力をお願いします。

【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ
認定 NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL/FAX: 0162-82-3950

Eメール info@sarobetsu.or.jp

ホームページ『サロエコ』で検索

http://www.sarobetsu.or.jp/

Facebook も見てね!



サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

サロベツ花だより

No.8

今のおすすめは ノハナショウブ です



◀ 約 10 cm ▶

一周約 1km

所要時間30~40分

初夏の小鳥たちの
さえずりをききながら
散策を楽しんでください

【発見難易度】 赤紫色の花です

★☆☆☆☆ アヤメ科

【花の高さ】

【花の大きさ】



中 (60cm程度)



手のひらくらい

【漢字：野花菖蒲】

サロベツ湿原センターの木道わきではアヤメ科が 2 種類咲きますが、「ノハナショウブ」は花が赤みのある紫色で黄色い筋がスツと入り、半陸地に咲きます。

「カキツバタ」の花は紫色に白い筋が入り、水辺を好みます。

カキツバタ→



ハナニガナ キク科 咲いています



針金のような細い茎に、可愛らしい黄色い花が咲きます。漢字では「花苦菜」と書き、字のとおり驚くほど苦いそうです。花言葉は「明るい笑顔の下の悲しみ」です。

アギスミレ スミレ科 咲いています



「ツボスミレ」の変種で、湿原に咲くスミレです。大湿原に小さな1cm程の小さく可憐な花がひっそりと咲いていますので、見つけてみてください。

サロベツ湿原センター情報



まん延防止等重点措置に伴い、サロベツ湿原センターは7/11(日)まで臨時休館が延長となっています。駐車場・木道・トイレは引き続き通常通りご利用いただけます。木道は、感染拡大防止のため、一方通行での散策にご協力をお願いします。

【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ
認定 NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL/FAX: 0162-82-3950

Eメール info@sarobetsu.or.jp

ホームページ『サロエコ』で検索

http://www.sarobetsu.or.jp/

Facebook も見てね!



サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

サロベツ花だより

No.9

今のおすすめは モウセンゴケ です

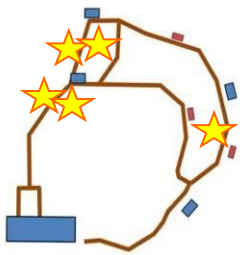


< 約 0.5 cm >

一周約 1km

所要時間30~40分

初夏の小鳥たちの
さえずりをききながら
散策を楽しんでください



【発見難易度】 白色の花です

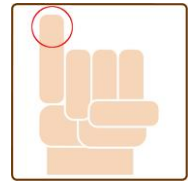
★★★★★モウセンゴケ科

【花の高さ】

【花の大きさ】



低 (5~10cm程度)



小指の輪くらい

【漢字:毛氈苔】

食虫植物のモウセンゴケは、葉から透明のキラキラした消化液を出して虫を捕らえて栄養としますが、花は小さく白い可愛らしい花を一つずつ順番に咲かせます。晴れた日の昼過ぎ頃までしか咲きません。コケ(苔)と名前が付いていますが、苔ではなく種子植物です。

コバトンボソウ ラン科 咲いています



名前にトンボ(蜻蛉)と付いているとおり、トンボがたくさんお尻を上げてとまっているように見えます。周りの草と同化して見つけにくいので、探してみてください。

ハイヌツゲ モチノキ科 咲いています



雄株

1m程の低い木に4mm程のとても小さく可愛らしい花が咲きます。雄雌異株で、雄株は葉の脇に花が数個付き、雌株は花が1個付きます。

サロベツ湿原センター情報



まん延防止等重点措置に伴い、サロベツ湿原センターは7/11(日)まで臨時休館となっております。駐車場・木道・トイレはご利用いただいておりますが、7/12(月)からは通常オープンとなります。引き続き木道は、感染拡大防止のため、一方通行での散策にご協力をお願いします。

【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ
認定 NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL/FAX: 0162-82-3950

Eメール info@sarobetsu.or.jp

ホームページ『サロエコ』で検索

http://www.sarobetsu.or.jp/

Facebook も見てね!

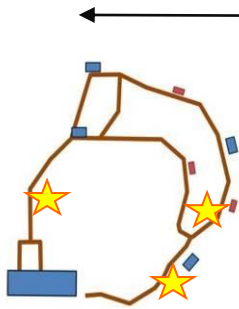


サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

サロベツ花だより

No.10

今のおすすめは ドクゼリ です



← 約 15 cm →
一周約 1km
所要時間30~40分

夏の小鳥たちの
さえずりをききながら
散策を楽しんでください

【発見難易度】 白色の花です

★☆☆☆☆ セリ科

【花の高さ】



中 (50~100cm程度)

【花の大きさ】

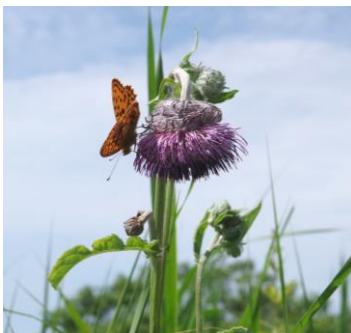


手のひらくらい

【漢字: 毒芹】

花火がパツと広がったように咲き、一つ一つの花はとても小さく可憐で繊細なレースフラワーのようです。見た目の可愛いらしさと違い、日本三大毒草の一つで(他2つはトリカブト、ドクウツギ)、全草に猛毒な成分を含み、間違っても食べると死亡することがあります。

エゾノサワアザミ キク科 咲いています



150cm程の高さで、湿原の中でスリと目立ちます。淡紅紫色の花を下向きに咲かせ、いつも蝶々や虫を引き寄せています。ぜひ下から覗いてみてください。

オトギリソウ オトギリソウ科 咲いています



「弟切草(オトギリソウ)」という名前は、昔秘薬として使っていたことを弟が他人に口を滑らせてしまい、怒った兄が弟を切り殺したという言い伝えから名付けられました。

サロベツ湿原センター情報



サロベツ湿原センターは7/11(日)までまん延防止等重点措置に伴い臨時休館となっておりますが、7/12(月)から通常オープンとなっております。引き続き、木道は感染拡大防止のため、一方通行での散策にご協力をお願いします。

【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ
認定NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL/FAX: 0162-82-3950
Eメール info@sarobetsu.or.jp
ホームページ『サロエコ』で検索
http://www.sarobetsu.or.jp/
Facebook も見てね!

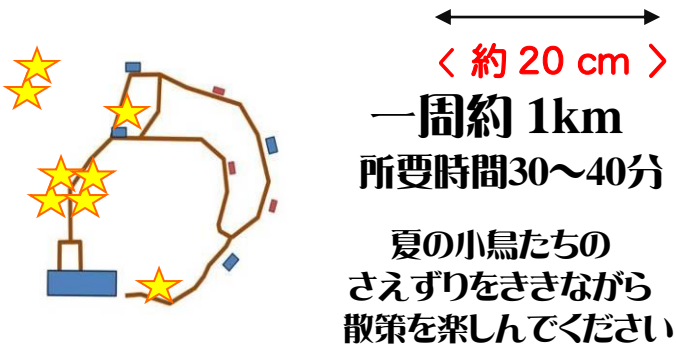


サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

サロベツ花だより

No.11

今のおすすめは **ハリウツギ** です

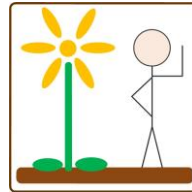


【発見難易度】 白色の花です

★☆☆☆☆ アジサイ科

【花の高さ】

【花の大きさ】



高(50~200cm程度)



手のひらくらい

【漢字:糊空木】

白い花びらに見えるのは虫を引き寄せ
るための飾り花で、本当の花は内側に
たくさん咲いている小さな花です。下向
きに垂れた飾り花(写真左)は、「虫さん
もう終わりですよ」の合図です。別名
「サビタ」と呼ばれ、北海道ではその名
前の方で馴染みがあります。

タチギボウシ クサスギカズラ科 咲いています



青紫色の花は清涼感があ
り、人気のある花です。光
に透けるとさらに美しさが
際立ちます。今年は株が
たくさん見られますが、少
雨のせい、花は少し乾
燥気味が多いです。

ミカヅキグサ カヤツリグサ科 咲いています



とても地味な花ですが、
白い小さな穂が花で、そ
れが三日月に見えること
から名付けられました。
高層湿原に咲く貴重な
花で、氷河期の生き残り
と言われています。

サロベツ湿原センター情報



サロベツ湿原センターは7/11(日)までまん延防止
等重点措置に伴い臨時休館となっておりますが、
7/12(月)から通常オープンとなっております。引き続
き、木道は感染拡大防止のため、一方通行での散
策にご協力をお願いします。

【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ
認定NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL/FAX: 0162-82-3950

Eメール info@sarobetsu.or.jp

ホームページ『サロエコ』で検索

http://www.sarobetsu.or.jp/

Facebook も見てね!

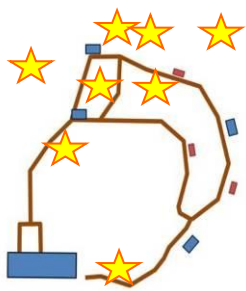


サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

サロベツ花だより

No.12

今のおすすめは タチギボウシ です



←→
< 約 5 cm >
一周約 1km
所要時間30~40分
夏の小鳥たちの
さえずりをききながら
散策を楽しんでください

【発見難易度】 青紫色の花です

★☆☆☆☆ クサスギカズラ科

【花の高さ】



中 (50~100cm程度)

【花の大きさ】



手のひらくらい

【漢字：立擬宝珠】

花はラッパのような形で下向きに咲き、光に透けるとさらに美しさが際立ち清涼感があります。サロベツ湿原の夏の花の代表格で、よく見ると湿原の奥の方にも咲いています。今年は株がたくさん見られますが、少雨のせいか花は少し乾燥気味が多いです。

クサレダマ サクラソウ科 咲いています



「腐れ」しているわけではなく、漢字では「草連玉」と書き、マメ科のレダマに似ていることから名づけられました。横から見ると円錐型で、花はかわいらしい黄色い星形をしています。

エゾナミキソウ シソ科 咲いています



名前の由来は、花の形が波が押し寄せてくる様子に似ていることから言われています。高層湿原に咲き、絶滅危惧種で貴重な花です。草陰にひっそり咲いています。

サロベツ湿原センター情報



サロベツ湿原センターは7/11(日)までまん延防止等重点措置に伴い臨時休館となっておりますが、7/12(月)から通常オープンとなっております。引き続き、木道は感染拡大防止のため、一方通行での散策にご協力をお願いします。

【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ
認定 NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL/FAX: 0162-82-3950
Eメール info@sarobetsu.or.jp
ホームページ『サロエコ』で検索
http://www.sarobetsu.or.jp/
Facebook も見てね!

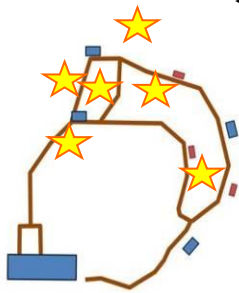


サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

サロベツ花だより

No.13

今のおすすめは サワギキョウ です



◀ 約 10 cm ▶

一周約 1km

所要時間30~40分

夏の小鳥たちの
さえずりをききながら
散策を楽しんでください

【発見難易度】 紫色の花です

★☆☆☆☆ キキョウ科

【花の高さ】

【花の大きさ】



中 (50~100cm程度)



指の輪くらい

【漢字：沢桔梗】

キキョウに似た紫の花を咲かせ、水辺に生えることから名づけられました。昔は麻酔の成分として使われていましたが、毒性が強いため現在は使用されていないそうです。花は下から咲いていき、上部で咲く頃には下の方では早くも実が成っています。

ハンゴンソウ キク科 咲いています



漢字は「反魂草」と書き、垂れ下がった葉先が手招きして死者の魂を呼び戻すように見えることから名づけられました。ちょうどお盆時期頃に咲きます。

ネジバナ ラン科 咲いています



花が茎のまわりに螺旋状に連なって咲くことから名づけられました。緑の湿原にピンクの鮮やかな色が映えます。今年は白花も見られています。

ナガボノシロフレモコウ バラ科 咲いています



「長い花穂の白いフレモコウ(吾亦紅)」という、見た目をすべて詰込んだような長い名前です。花は咲きながら伸び、人差し指くらいの長さくらいまでになります。湿原の奥の方までたくさん咲いています。

【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ
認定 NPO 法人 サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL/FAX: 0162-82-3950

Eメール info@sarobetsu.or.jp

ホームページ『サロエコ』で検索

http://www.sarobetsu.or.jp/

Facebook も見てね!

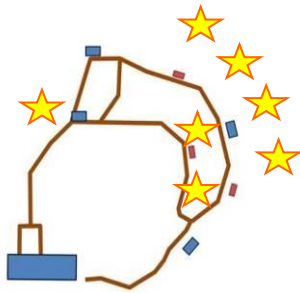


サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

サロベツ花だより

No.14

今のおすすめは ナガボノシロワレモコウ です



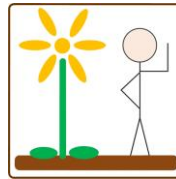
＜花穂 約7cm＞
一周約1km
所要時間30～40分
秋の虫の声をききながら
散策を楽しんでください

【発見難易度】 白色の花です

★★★★☆ バラ科

【花の高さ】

【花の大きさ】



高(80～170cm程度)



人差し指くらい

【漢字：長穂白吾亦香】

「長穂」の名前のおり2～7cm程の長さ花穂が、先がぶらりと垂れています。背はスラリと高く、風に揺れてい風景はサロベツ湿原の夏の風物詩です。今年株がとても多く、湿原の奥の方までたくさん見られますが、夏の少雨と高温の影響か花も少し乾燥気味です。

ミゾソバ タデ科 咲いています



白とほんのりピンク色の小さな花は足元で可憐に咲いています。葉の形が牛の顔に似ていることから、別名「ウシヒタイ」と言います。内周で見られます。

ミミコウモリ キク科 咲いています

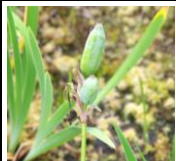


葉の形がコウモリに似ていることから名づけられました。林内でひっそりと咲いています。白い花は先が控えめに少し開くと開花です。

ミニミニ実と種図鑑



ハナショウブ
実はコロんと丸く、ツルツルしています。



カキツバタ
ハナショウブより長さがあります。



エゾカンゾウ
黒くツヤツヤした種がこぼれ落ちる時期です。



ツルコケモモ
1cm程の実がだんだんと赤く色づいてきます。

【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ
認定NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL/FAX: 0162-82-3950

Eメール info@sarobetsu.or.jp

ホームページ『サロエコ』で検索

http://www.sarobetsu.or.jp/

Facebook も見てね!



サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

サロベツ花だより

No.15

今のおすすめは エゾリンドウ です



◀ 約 6 cm ▶

一周約 1km

所要時間30~40分

秋の虫の声をききながら
散策を楽しんでください

【発見難易度】 紫色の花です

★★★★☆ リンドウ科

【花の高さ】

【花の大きさ】



中 (30~40cm程度)



小指の長さくらい

【漢字：蝦夷竜胆】

サロベツ湿原の春から続いたお花リレーの最終走者がお目見えしました。秋の主演のお花です。花びらは天気の良いとわずかに開きます。園芸種のリンドウの元になっています。今年は夏の少雨と高温の影響か、お花も湿原も少し乾燥気味です。

ウメバチソウ ニシキギ科 咲いています



秋の湿原に星々のように咲きます。純白の花は小さいですが凜として目立ちます。小さな丸い粒のように見えるのは蕾です。葉の形はハート型で可愛いです。

ミヤマアキノキリンソウ キク科 咲いています



今年も麒麟が来ました。サロベツ湿原の秋の菊の花で、別名「コガネギク」です。楚々とした花は、夕日に照らされると一層趣があります。

秋色に染まる湿原



一夜ごとに秋色に染まる湿原。派手なものは何もなく、あるのはただただ雄大な大自然です。ここは秋の特等席。何もなくていい場所です。

【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ
認定 NPO 法人 サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL/FAX: 0162-82-3950

Eメール info@sarobetsu.or.jp

ホームページ『サロエコ』で検索

http://www.sarobetsu.or.jp/

Facebook も見てね!



サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

サロベツ湿原だより 9月号

今のおすすめは「秋色を織りなす湿原」です



昼間あたたかい日でも、朝晩はひんやりするサロベツでは、ひと夜ごとに湿原が黄色く変わっていきます。聞こえるのは、背が高くなったヨシなどがカサカサと風に揺れる音と、虫の音だけ。派手なものは何もなく、あるのはただただ雄大な大自然です。濃淡さまざまな秋色のトーンで彩られる湿原では、秋のお花のエゾリンドウやミヤマアキノキリンソウなどが楚々と咲き、トンボの姿も見られる木道は、心に染み入る風景です。

【サロベツの小さな秋たち】春から始まったお花リレーは見納めの時期となりました。実やタネの観察もおもしろいです。



エゾリンドウ



ミヤマアキノキリンソウ



ウメバチソウ



色付いた
サワギキョウの葉



ツタウルシも色付く



ミスゴケも色付く



ツルゴケモモの実



カキツバタの実



ヌマタテアカネ



冬芽をつけたヤチヤナギ

【牧草地のタンチョウ】



国の特別天然記念物であるタンチョウは、今時期牧草地で過ごしているのを道路脇から目にすることがあります。立ち姿も上空を飛ぶ姿も美しく目を奪われます。雪が積もる前には道東へ旅立ちます。

【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ

認定 NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL 0162-82-3950

Eメール info@sarobetsu.or.jp

ホームページ『サロエコ』で検索

http://sarobetsu.or.jp/

Facebook も見てね！



サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

サロベツ湿原だより 11月号

湿原は一面黄金色に衣替えし、晴れた日は雪化粧した利尻山もきれいです。



木道を歩いてゆくと、風が鳴らした葉擦れの音がさらさらと聞こえてきます。また、上空からはヒシクイやマガン、コハクチョウのにぎやかな声が聞こえてくることも。雪が降り始めるすこし前、秋と冬の狭間の様子です。

【湿原で冬を待つ植物たち】足元に目を凝らすと、小さな冬芽や木の実などが見つかります。



ハンノキ



ハイヌツゲ



イノツツジ



ヤチツツジ



ツルコケモモ

**サロベツ湿原センターは
冬季も開館しています！**



詳細は HP にてご確認ください

11～4月 は開館スケジュールが変更になります。

【開館時間】 10:00～16:00

【休館日】 月曜日・年末年始(12/29～1/3)

※月曜日が祝日の場合は、翌火曜日が休館日となります。
※暴風雪の日は臨時休館になる可能性があります。

【発行】 認定 NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク

HP・SNS 各種で情報を発信しています。

ぜひ check してね！！



HP



instagram



facebook

サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

サロベツ湿原だより 12月号

雪が降っては溶け、日に日に冬らしさが増してきた湿原の様子です。



木道にも雪が積もり、雪の粒が陽射しにキラキラと輝く様子をご覧ください。耳を澄ませば、雪の溶けるかすかな音が聞こえることも。散策は温かい服装で、足元は長靴やスノーブーツがおすすめです。

雪の下に隠れる間際の植物と、一年で一番昼の短い季節、16:00 前に訪れる夕焼けです。



ヤチツツジ



緑色のマンネンスギと、赤茶色のイソツツジ



夕焼けの中、雪化粧した利尻山

**サロベツ湿原センターは
冬季も開館しています！**



詳細は HP にてご確認下さい

☆☆ 11月～4月の開館スケジュール ☆☆

【開館時間】 10:00～16:00

【休館日】 月曜日・年末年始（12/29～1/3）

※月曜日が祝日の場合、翌火曜日に休館いたします。

※暴風雪の日は臨時休館する場合がございます。

【発行】 認定 NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク

HP・SNS 各種で情報を発信しています。

ぜひ check してね！！



HP



instagram



facebook